

# そよかせ

毎日新聞西部社会事業団だより

第96号 2016年11月

発行所 〒802-8651  
北九州市小倉北区紺屋町13-1  
(公財)毎日新聞西部社会事業団  
瀬尾 健悟  
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009  
E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp  
郵便振替 01770-2-40213  
URL http://www.mainichi.co.jp/seibu\_shakaijigyo/

経験を生かした自殺予防の活動  
た。「いのちの電話」の活動  
2004年に会長に就任し  
設を設置した。齋藤さんは  
に居場所となるダイヤケア施  
の専門家として設立。3年後  
85年、精神医学や心理学  
者と家族を支えようと19  
不登校やひきこもりの若  
雄会長  
◆公益社団法人・青少  
年健康センター(齋藤友紀  
雄会長)

## 第46回 毎日社会福祉顕彰贈呈式



毎日社会福祉顕彰の表彰を受けた(左から)齋藤友紀雄さん、家常恵さん、植村ゆかりさん、長男・周平さん

## 「にこスマ」に26人参加

小児がんを経験した子どもたちが交流する「にこスマキャンプ」が8月20～21日、福岡県八女市山内の県立ふれあいの家南筑後であった。

NPO法人「にこスマ九州」(白石恵子代表理事)が主催し、今年で7年目。今年も、26人の子どもたちや、小児がん経験者として成人した運営スタッフ、ボランティアら約80人が集まった。初日は、それぞれの夢や目標を書いた色紙を模造紙に貼って一つの虹の絵を描くなどの創作活動、バーベキューなどを楽しんだ。2日目は「お話し会」があり、病気や生活の悩みなどを語り合った。

中学1年で急性骨髄性白血病を経験した久留米市の臨床心理士(25)は運営スタッフとして参加。「経験者同士で悩みを話したり、羽を伸ばしたりしてほしい」と話していた。

## 聾学校の生徒らが交流

第51回九州地区聾(ろう)学校体育・文化連盟大分大会(同連盟主催、毎日新聞社など後援)が、大分市の県身体障害者福祉センターで開かれ、9月29日の総合開会式に九州・沖縄のろう学校13校の生徒約230人が参加した。大分県立聾学校・高等部2年の持丸裕也生徒会長は「大分で、たくさんの良い思い出を作ってください」と歓迎。また、同校高等部2年の田辺莉奈さんは「全力を尽くすことを誓います」と手話を交えて選手宣誓した。

会場では、生徒が創作した絵画や習字、陶芸などを一堂に展示する作品展も開催。30日には市営陸上競技場で陸上競技大会があり、各種目で記録やタイムを競った。

# 2団体1個人を表彰

福祉の向上に尽くした個人や団体を表彰する第46回毎日社会福祉顕彰(毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団主催、厚生労働省、全国社会福祉協議会後援)の贈呈式が10月21日、東京都千代田区の如水会館であり、全国各地から推薦された43件の候補から選ばれた2団体と1個人が表彰された。

◆公益社団法人・青少年健康センター(齋藤友紀雄会長) 東京都文京区元大塚中央子ども家庭センター所長 家常恵さん 大阪府大東市▽NPO法人「地域活動支援センター」おおぞら(植村ゆかり理事長) 鳥取県米子市。丸山昌宏・東京社会事業団理事長(毎日新聞社社長)が賞牌と賞金(各100万円)を手渡した。それぞれの顕彰理由などは次の通り。

55年以上子どもを虐待から守る活動を続ける。大阪府内の児童相談所長を歴任し、虐待を受けた子どもへの保護に尽力してきた。集団で子どもを取り返すにきたオウム真理教の信者や暴力団員の親とも決然と対応したことが語り継がれている。定年退職後の2003年、児相や養護施設、医療機関の関係者らと「大阪子どもネットワーク」を全国に先駆けて作った。「子どもを守る最後のとりで」として、虐待発見や防止に力を注ぎたい」と意気盛んだ。

◆特定非営利活動法人「地域活動支援センターおおぞら」(植村ゆかり理事長) 養護学校の保護者7人が1994年に作業所を開設したのが始まり。現在では、作業所▽書道、ダンスなど6講座▽福祉の店2店を展開し障害者約80人が利用している。今秋10回目となったバリアフリーの水泳・ランニング複合競技「全日本Challengedアクトス本Challengedアクトス」を国内で初めて企画、事務局として運営を支えてきた。植村さんは「障害者が輝くことを手助けするのが仕事です」と話している。

# 歳末恒例チャリティー即売会

★ 今年も小倉、山口、福岡で開催 ★

全国の著名な画家や陶芸家などから寄贈された作品を一堂に集めて開く歳末チャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は、今年も北九州市(小倉)、山口市、福岡市の3会場で、12月の第1、第2、第3土・日曜の各2日間開催します。師走の恒例行事として、多くの美術愛好家に喜ばれており、例年、800人前後の皆さんから約1300点余の多彩な作品が寄贈されます。

チャリティー即売展は、通常の寄付金だけではまかない切れぬ社会福祉事業の資金を確保するため、歳末助け合い募金「愛の義援金」とともに開いています。作品の価格は、寄贈していただく先生方の特別の計らいで、市価よりもかなりお求めやすくなっており、優れた作品を入手できるチャンスです。毎年、九州・山口各県をはじめ、中国、四国などからも多くの方が訪れます。

今年も、洋画、日本画、版画、書、陶芸、彫刻・工芸、宗教、文化・芸能、漫画など、各界の著名作家ら3000人近い方々に出品をお願いしました。出品して下さる先生方は、人間国宝をはじめとする超一流の作家や、国内のみならず世界を舞台に活躍する人気作家、若手ながら高い評価を受けている新鋭作家などです。ファンならずとも見逃せない作品が並びます。

販売は、各会場とも、ご希望の作品をその場でお渡しする一般即売と2日目午前11時半に締め切る入札販売の二つの方式で行います。この機会にぜひ会場にお越し下さいますよう、お待ち致しております。

### □ 2016年度の日程と会場 □

#### 【北九州会場】

日時 12月3日(土) 9時半～17時、4日(日)10時～16時  
場所 北九州市小倉北区紺屋町13-1  
毎日西部会館5階大ホール及び中ホール

#### 【山口会場】

日時 12月10日(土)10時～18時、11日(日)10時～16時  
場所 山口市中市町3-3  
山口井筒屋5階催場

#### 【福岡会場】

日時 12月17日(土) 9時半～17時、18日(日)10時～16時  
場所 福岡市中央区天神1-1-1  
アクロス福岡2階・交流ギャラリー

#### 【年度末北九州会場】

日時 17年3月4日(土) 9時半～16時  
場所 北九州市小倉北区紺屋町13-1  
毎日西部会館5階大ホール

▼寄せられた作品の一部(敬称略)▼



さいとう・たかお「ゴルゴ13」



宮川香齋「乾山うつし彼岸桜の絵茶碗」



加藤照「アンデス」



斉藤和「風薫る」



千宗室「物外」